

特別活動の指導における ICTの活用について

特別活動における1人1台端末の活用

特別活動の指導に当たっては、その方法原理である「**なすことによって学ぶ**」**直接体験が基本である**が、指導内容に応じて、適宜コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、児童生徒の学習の場を広げたり、学習の質を高めたりすることができる。

特別活動の特質「**集団活動、実践的な活動**」の代替としてではなく、特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。

学級活動・ホームルーム活動における活用例

集団や自己の生活上の課題を解決するために学習者用端末を活用して

- 生活場面を撮影したり、サイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。
- 個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。
- 解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。
- 実践を撮影及び編集し、他者と共有したり、互いの記録を統合して次の課題解決につなぐ。

問題の発見・確認



生活の課題を撮影し把握



進路の課題をサイトで収集

解決方法等の話し合い



意見の出し合い、比べ合い



話し合い

全員の意見が（平等に）表明できてよかった。



学習用端末で「個別最適化」だけでなく「集団や全体の最適化」を

次の課題解決へ



振り返りから見直しへ

振り返り



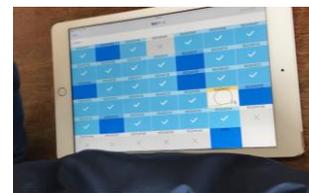
生活の振り返り

決めたことの実践



清掃活動の改善

解決方法の決定



折り合いをつけ、決める

特別活動における1人1台端末の活用

児童会・生徒会活動における活用例

より充実した集団活動、実践的な活動、そして自発的、自治的な活動の実現のために学習者端末を活用する

- 全校などの大きな集団の意思表示、合意形成に向けた学習過程を大きく変え、話し合い活動がより充実する。
- 活動の実態を客観的に把握し、集団においても適時的確に共有できる。
- 生徒会活動や学校行事ではアイデアを効果的に伝播できる。
- イメージしにくい現象を動的にシミュレーションすることで、理解をより深めることができる。



遠隔地では合同生徒会議で多様な意見聴取

集団が大きくなればなるほど、情報共有や意見表明、集計などに学習者端末が効果を発揮



問題の発見
議題などの設定

解決に向けての
話し合い

解決方法の決定



地域の課題を撮影し把握



地域の課題を取材で収集



意見の出し合い（スピーチ）



話し合い

クラブ活動／学校行事 における活用例



体育祭の演舞をセルフチェック

次の課題解決へ

振り返り

決めたことの実践



新たな課題につなぐ



共同編集でまとめ



成果の確認



異年齢交流活動



地域貢献活動



プログラミングクラブの設立をタブレット使って児童が提案

ICT端末を活用して“学級・ホームルーム生活をつくる”

コロナ禍の臨時休業期間中において、いくつかの学校で学習者端末を活用した朝の会や帰りの会（SHR）、学級活動・ホームルーム活動を実施していました。通常の特別活動同様に人間関係形成、社会参画、自己実現に大きく寄与したことがわかります。

例：朝の会（SHR）
生活のリズムをつくる、伝達事項を伝える

4月15日（火） おはようございます

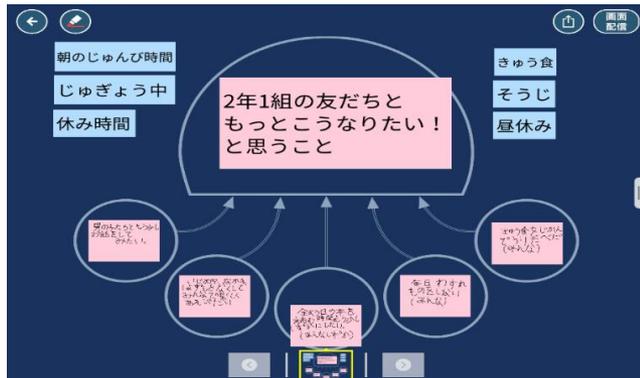
- (1)健康確認
- (2)本日の予定
9:10～10:00 グローバルシティズンシップ
10:10～11:00 PES（native英語）
11:10～12:00 英語上級
- (3)課題の確認
- (4)来週、リモートランチ会を開催します。意見を寄せてください。
- (5)リモートHRで今年の目標やHR委員を決めます。

例：学級活動・ホームルーム活動
よりよい人間関係をつくる（自他を知る）

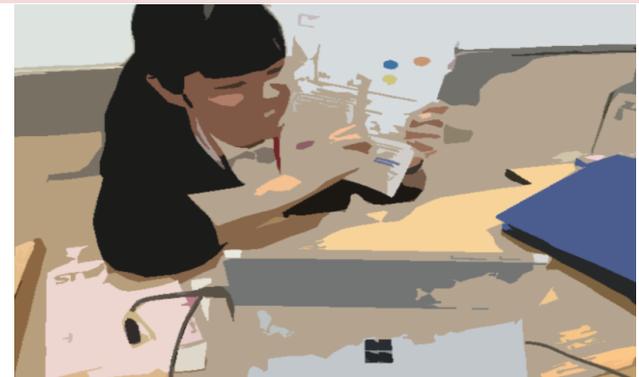


朝の会（SHR）における端末活用に慣れてきたことを確認してリモート学級活動・ホームルーム活動へ。

例：学級活動・ホームルーム活動
温かなクラスをつくる（めあてを決める）



生徒の声
役割や希望をつくる（意欲を高める）



中学1年 ICT端末を活用して“出会う”

中学1年生は、4月入学当初から臨時休業期間中であつたため、学習者端末を通じて、学級・ホームルームのみんなと初めて出会うことができました。

端末を活用した出会い



学級活動・ホームルーム活動で仲間を知る



“会いたい”“学校に行きたい”意欲を高める



話し合い活動の約束や意義を知る

ポイント

1-5 話し合い活動の約束

- 他者の話を最後まで聴く
- 多様な意見を否定しない
(相手の意見を尊重する気持ちを大切にする)
- 積極的に発言する

誰もが安心して活動できる雰囲気を!

【リモート学級活動後の生徒の感想】

- 話し合い活動の約束があつたので安心して発言することができた。一日も早く、みんなと会いたいです。
- バラバラの小学校から入学して、不安ばかりだったけど今日の学活で改めて登校したいと思った。

ICT端末を活用して“話し合い活動の基盤をつくる”

リモート学級活動・ホームルーム活動で学級・ホームルームづくり



端末活用の技能や環境は個人差が大きく、入念な準備が必要。安心感ある風土の醸成など話し合い活動の基盤を整備する。※安心感ある発言や話し合い活動の基盤は端末活用の技能や環境だけではない。

意思決定と表明

15秒CM開始！

- 順番は先生が決めます！
- どうせやるからには楽しみましょう！
- 自分の発表時のみミュートを解除してください。
- 発表者の特徴をMemo用紙にメモをしましょう！
- 発表が終わった時は大きなリアクションで拍手をお願いします！

トラブルも想定

こんな時・・・

- 途中で切れてしまった時は、焦らずにもう一度Remoteをつなぎ直しましょう。
- 基本的には音声はミュートにしておいてください。15秒CMや質問がある時など、自分が喋る時のみ、ミュートを解除しましょう。
- 何か困ったことやわからないこと、質問がある時は遠慮なくミュートを解除して聞いてください！

安心感ある風土の醸成

名前を変える→0500名前



学級活動・ホームルーム活動の学習過程を確認し、話し合い活動、合意形成や意思決定、実践への意欲付けを大事にしたい。

想定される端末のトラブル等もあらかじめ周知し、対応方法を指導しておく。

入学直後や年度初めには話し合い活動のルールや傾聴の態度を共有する。

児童生徒の声 (写真はリモートランチ)



- リモートSHRがあったので生活のリズムができた。
- リモート学級活動でみんなの意見を知ることができてよかった。あと、みんなの顔が見られたのもよかった。
- リモート朝の会があることで勉強のスイッチが入った。
- リモートホームルーム活動で、本当なら見れないはずだったみんなの顔が見られて、元気になったしやる気も出た。
- リモートランチ会、心が温かくなった。

教員の声



【リモート学級活動後の教員の感想】

- 生徒にとって何よりの活力になった。
- 保護者に最も喜ばれた。
- 教員だからできること、しなければならないことが明確になった。
- 特別活動の重要性を再認識した。
- リモート学級活動によって集団に安心感が生まれた。
- 画面の中でも生徒の顔を見て、私が一番モチベーションを上げた。